

会 議 録

日	令和5年6月7日(水)	時間	10:30~11:30	場所	市民会館3階会議室
件名	第1回糸魚川市コンプライアンス審査会				
出席者	【出席者】 10人 ◎糸魚川市コンプライアンス審査会委員(5人) 小出薫(会長)、朝日啓、小田島澄恵、高尾知夕紀、早川正明 ◎市(5人) 総務部長 渡辺孝志 総務課長 渡辺忍 総務課長補佐 仲谷充史 総務課職員係長 上野一樹 総務課職員係主査 廣川一幸				
	傍聴者定員		4人	傍聴者数	0人

会議要旨

- 1 開会(10:30)
(進行:渡辺課長)
 - 2 委員・事務局紹介
 - 3 議事
(進行:小出会長)
- (1)令和4年度の取組状況について
(資料説明:上野係長)
- 会 長=令和4年度の取組で良かった点やもう少し力を入れたいところは。
 事 務 局=手探りでの取組ではあったが、各自でまず考えていただき、会話や朝礼など基本的なところからスタートした。具体的な取組が必要だと感じたので、各課の取組を参考にしながら今後につなげていきたい。
- 委 員=職員の人数は。
 事 務 局=正職員が492人、会計年度任用職員も同じ位いるため約1,000人の職員がいる。消防や保育園などの出先機関においてもZoomを活用して研修を受けられるようにし、意識を持ってもらえるように取組んだ。
- 委 員=動画の視聴確認はできているのか。
 事 務 局=見た実績はもらっていない。課題である。
- 委 員=ハラスメント防止研修の参加人数が少ないが、参加者を絞っているのか。
 事 務 局=全職員が対象。日時を決めて行うので都合の良い職員が決まってくる。少ないのは事実である。
- 委 員=研修は、一方的に聞くだけなのか。寝る人も出てくるのでは。グループディスカッションのようなものはあるのか。
 事 務 局=交通安全講習であれば警察の方から来ていただき、コンプライアンスやコミュニケーションなどの他の研修においても専門講師にお願いしており、グループトークのようなものもある。参加者が少ないものもあるため、各係や職場の朝礼などで研修内容を

職員に還元するようお願いしている。

委員＝研修募集のかけ方は。

事務局＝一人一台パソコンを配置しているので庁内ネットワークで見ることができる。参加申込み期間を設けているので、長期休み以外の職員は確実に見ることができる。

会長＝議事(1)について議決は必要ないが、了承したという形を執らせていただきたい。了承してよろしいか。

委員＝異議なし。

(2)令和4年度コンプライアンス案件状況について

(資料説明：上野係長)

会長＝本委員会は公開が原則だが、この議題は場合によっては個人を特定される内容になるため、この議題に限り秘密会としたいがよろしいか。

委員＝異議なし。

<秘密会開催>

会長＝議事を閉じたいがいかがか。

委員＝異議なし。

会長＝ここから公開に戻す。

(3)令和5年度取組について

(資料説明：上野係長)

委員＝市の職員は4月に異動があるが、各課で計画を作り、前の職場のものを取り入れたりしているか。

事務局＝良いものは引き継ぎ、新しい職場に取り組むようにしている。良い所取りができるような形が理想と考えている。職員の人数が減り、正直余裕がなくなりコミュニケーションをとることが難しくなっているが、幸いコロナも落ち着いてきたので、いわゆるコミュニケーションに少し期待している。風通しの良さが出てくればと考えている。

委員＝研修の参加者が少ないのでは。

事務局＝昨年度から試行的に行っていたeラーニングを積極的に取り入れていきたい。動画視聴の依頼をする体制をとった上で、誰がどの動画を見たかや、視聴後にテストを行うこともできるので活用していきたい。

会長＝総務課の取組にヒヤリハット事例の共有があるが、件数などの数字があれば、今年は少し多いなといったところが見えてくる。数量的な部分を取組んでもらいたい。

事務局＝せっかくの機会なのでアドバイスをいただければと思う。職員が少なくなり、研修を受ける機会や時間がなくなり、時間外に研修をやろうとすると働き方改革というものが出てくる。職員が関心を示すことが一番大事かと思っている。その辺りのうまい方法や事例等があれば教えていただきたい。

会長＝実はそういったところを勉強したいと思っていたが追い付いていない。コンプライア

ンスに力を入れている弁護士の本の中で企業不祥事を紹介している。改善が上手くいった会社では、何故その会社で働いているかをしっかり職員の中で話し合うことが一番大事だと出ている。逆にコンプライアンスだけを押し出すと上手くいかないと紹介していた。それをどう応用できるかまで考えをまとめていない。研修だけを押し出すのでは上手くいかない。追っかけ勉強して提供させていただく。

事務局＝意識の問題が一番大事。特にコンプライアンスに関しては。人間関係、信頼性、お互いのコミュニケーションが根本的に一番大事だと考えている。ありがとうございます。

委員＝司法書士の会報が送られてくるが、懲戒事例は毎回読んでいます。失敗から学ぶところがあるのでは。

事務局＝今まではこうすると懲戒になるといった脅しに使っていた部分があるかもしれない。逆にそうでなく、こういうことはうまくいきません、組織として成り立ちませんといった活かせる方向に使えるようにしたい。

事務局＝今までは私の先輩の管理職は成功例を言われていた。私は逆に失敗例を言って気をつけてもらうようにしている。集合研修は日時が決まっているので、参加が難しい部分があるのでOJTではないが、失敗した事例をやかましく言って歩くと効果があると思う。

会長＝議事を閉じたいがいかがか。

委員＝異議なし。

(4)その他

会長＝審査会のスケジュールが6月と3月の予定でしばらくお会いしない。今回は定期健診のようなもの。職員1,000人に対して、報告いただいた件数は多くない方だと思っており、職員の努力の結果だと思っている。一方で原因の深掘りやハラスメントの対応体制については、見えた課題もあると思っている。コンプライアンスの負担が増えないようにしながら有効な取組を進めていただきたいので、研修に興味を持ってもらう策を少しまとめて7月に上野係長に報告に上がりたい。

会長＝審査会条例を拝見すると審査会の所掌事務は、コンプライアンス違反の調査が1番目、調査報告が2番目、推進が3番目。今日は3番目に関することが中心だったと思うが、ほかの事例等が発生した場合は対応ができると思うので連絡いただきたい。

事務局＝事例があった段階で審査、報告をさせていただきたい。

会長＝議事を終了し、事務局に返します。

4 閉会 (11:30)

事務局＝委員の皆様から貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。これからもコンプライアンス体制の構築、推進を継続して進めていきたいと考えています。今回は年度末の3月を予定しているが、それまで開催がないように気をつけて参りたい。以上をもちまして終了とします。